

泉 久尚¹, 新村 貴博²

¹東北大院薬 薬理学分野, ²徳島大院医歯薬 臨床薬理分野

薬学研究を行う上では、新たな理論や作用機序を明らかにする基礎研究が重要であるのはもちろんであるが、実際に薬剤が使用される現場での薬剤師の取り組みや個々の薬剤の特性に焦点を当てた臨床研究もまた薬学の課題である。しかし、基礎研究と臨床研究を同時に行っている研究室は少なく、各々がおのずとどちらかの研究に偏ってしまうのが現状である。また、多くの学会などでは基礎研究と臨床研究はそれぞれ別のセッションに分けられていることが多く、各分野の学生が互いの研究内容に触れる機会は少ない。そのため、臨床薬学と基礎薬学が互いの研究の意義や重要性を理解する機会を設け、基礎研究が臨床研究に還元されるように努めること、また、臨床研究からどのような基礎研究が必要とされているかを知るといことは今後の薬学研究を発展させていく上で重要である。特に、将来性のある薬学生にとっては、様々な研究に触れることで刺激をもらい、幅広い視野を持った研究を行っていくことが要求される。このシンポジウムでの質疑応答を通して、それぞれ違った視点からの意見・疑問を戦わせることで、各々が自分の研究に対して新たな発見を得ることができると考えている。本シンポジウムが薬学の基礎と臨床をつなぐためのセッションとなるとともに、薬学生の研究マインドを高めることが期待できる。